

平成 28 年
10月1日から

一般ごみの収集回数を 週 2 回に変更します

一般ごみの収集回数を週3回から2回に見直し、さらなるごみの減量化・資源化を進め、最終処分場の延命化を図ります。併せて、収集業務の合理化・効率化による経費の削減を図ります。

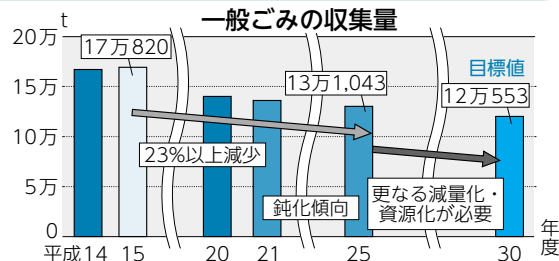
圃廃棄物政策課 ☎042-769-8336



収集回数見直しの背景

一般ごみの減少と減少率の鈍化

一般ごみの収集量は、15年度をピークに減少傾向にあります。ここ数年(21~25年度)は鈍化傾向にあります。



一般ごみのさらなる減量化・資源化

一般ごみには資源化可能物が約27%も含まれています。新たな施策や分別の周知徹底を行うことにより、ごみのさらなる減量化・資源化が見込まれます。

最終処分場の延命化

最終処分場の埋め立て終了予定は44年3月となっているため、ごみの減量化を促進し、最終処分場の延命化を図る必要があります。

一般ごみの処理に要する経費の削減

現在の最終処分場の整備には約120億円、一般ごみの収集には年間約17億円の経費が掛かっています。今後も、北清掃工場の延命化の工事や新たな最終処分場の整備が必要になるため、経費のさらなる削減を図る必要があります。

他市の状況

全国の市では約90%が週2回収集です。週3回収集は、政令市では本市と新潟市(有料化実施済み)、県内の市では本市だけです。週2回に移行した他市では、ごみの減量化・資源化が進み、収集車両が減ったことなどによる経費削減の効果がありません。



収集回数見直しの内容と効果

収集曜日

週2回収集では、収集曜日を月・木曜日、火・金曜日、水・土曜日とします。

※表はイメージです。資源と容器包装プラは地区ごとに異なります。

●各地区の収集曜日については、4月以降に、市の刊行物や市ホームページなどでお知らせする予定です。

週2回収集のイメージ

見直し後(月・木曜日、火・金曜日、水・土曜日)						
収集曜日	月	火	水	木	金	土
月・木曜日	一般ごみ	資源	—	一般ごみ	容器包装プラ	—
火・金曜日	—	一般ごみ	資源	—	一般ごみ	容器包装プラ
水・土曜日	容器包装プラ	—	一般ごみ	資源	—	一般ごみ

見込まれる効果

他市の移行状況から、家庭ごみの発生・排出抑制や分別意識の高まりにより、生ごみの減量や容器包装プラなどの資源分別が進み、着実に家庭ごみが減り、収集経費の削減や環境負荷の低減も期待できます。

●ごみの減量化・資源化の推進

一般ごみ収集量が移行後1年間で5%程度減少(他市の状況から)

●最終処分場の延命化

埋め立て期間が1年程度延長

●経費の削減

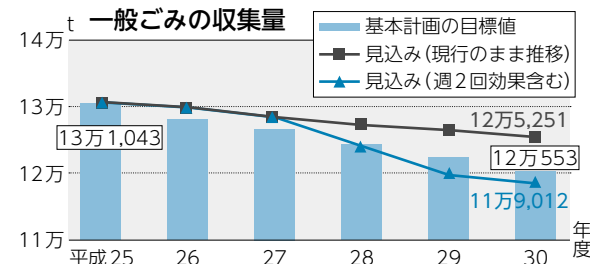
収集車両の減車や人員の削減で年間2億円程度の削減

●環境負荷の低減

収集車両の減車で年間100t程度のCO₂排出量の削減

●計画の目標達成

一般廃棄物処理基本計画の目標値を達成



移行に伴う対策

週2回収集へ円滑に移行するためには、市民の皆さんの理解が必要です。そのための具体的な対策として、専用のリーフレットとごみ出し冊子の配布、ごみ・資源集積場所への看板の設置、ごみ・資源集積場所のパトロールの強化、年末年始の臨時収集などを検討しています。